

【課題番号】 1-2404

【研究課題名】 地域を主体とするサステナブル社会への移行方法論の構築：地域循環共生圏事業の発展的な拡大にむけて

【研究期間】 2024 年度（令和 6 年度）～2026 年度（令和 8 年度）

【研究代表者（所属機関）】 赤尾健一（早稲田大学）

## 研究の全体概要

地域循環共生圏とは、「地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業（ローカル SDGs 事業）を継続的に創出していくことができる地域」が形成され、さらに、それらの地域がそれぞれの個性を活かして、人、もの、資金、情報のネットワークで相互に結びついている状況を指す。その際の事業は、(1)地域の主体性、(2)地域内外の多様なステークホルダー間のパートナーシップ、(3)環境(地域脱炭素、循環経済、自然共生)・社会・経済(採算性)面の課題の統合的解決、の3つの要素を満たすように実施されなければならない。現状を見ると、事業が素晴らしい効果をもたらしている事例もある一方で、環境の多様な側面と社会・経済の統合的向上は容易ではないとの指摘もある。

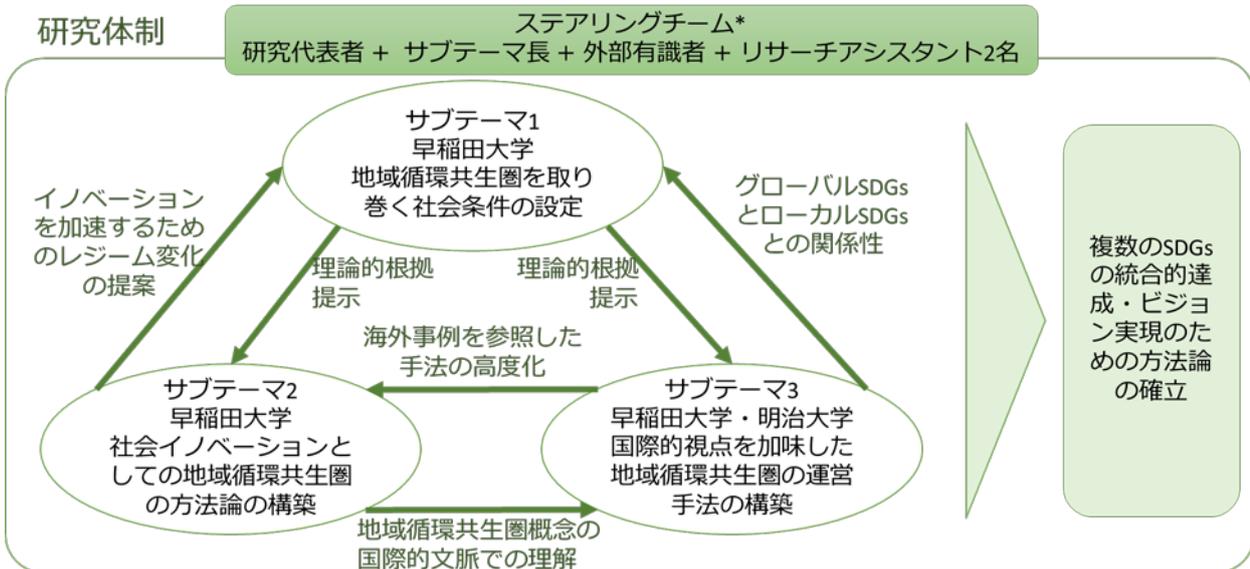
「地域循環共生圏の手引き」には、地域コーディネーター（行政、NPO、企業を含む）に対して地域循環共生圏の創出手順がまとめられているが、さらにその持続的発展のために、事業拡大(フィードバックやスパイラルアップ)と新事業への展開と拡大のための方法論が求められる。そこで本研究では、地域コーディネーターとその中間支援組織のために、地域循環共生圏事業を、継続的に進化させていくための方法論を構築する。具体的には、科学的分析視点に基づく、地域循環共生圏に関する現状調査を実施して、優良事例を中心にその要因を分析する。そして分析結果を踏まえて、優良事例の他地域での再現性を加速させるための方法論を、レジームの新たな活用を視野に含むダイナミックな視点から、社会科学の総合知に基づいて構築する。これにより、複数の SDGs の統合的達成の、ボトムアップ的推進に寄与できる。また本研究では、EU や多国籍企業が採用している地域開発の手法を参照することにより、方法論の高度化とともに、地域循環共生圏概念の国際化をめざしていることも特徴である。

研究には3つのサブテーマに対応する3要素が含まれる。第1に、基礎要件としてのレジーム（社会制度・政策の整備、技術パラダイム、ビジネス慣行、消費者選好、市場の動向等）の在り方を理論的提示すること、第2に、地域イノベーションを科学的根拠に基づいて発展的に継続していくための手法を確立すること、第3に、海外の取り組みを踏まえた手法の高度化と地域循環共生圏概念の国際的文脈での理解を進めることである。これら3要素には11の社会科学の視点が含まれている。

研究の具体的な進め方は、地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業の環境整備に対する伴走支援を行っている地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、および、連携する全国8か所の地方環境パートナーシップオフィス(EPO)を請け負っている団体と協力して行う。これらの団体と協力し、各地域の地域循環共生圏の諸取り組みについて、3つのサブテーマの分析目的を反映した共通の調査フォーマットを作成して、進捗状況を包括的かつ段階的に調査する。このような調査により、GEOC/EPOから事業スキームの運営側と、複眼的な視点をもった研究者チームの連携による、第三者的な評価を分析・評価することができ、これは本研究の重要な特徴である。なお、本研究は、地域コーディネーターとその中間支援組織のための方法論提示を目指す、その際、中間支援機能の担い手（行政、NPO、企業がいずれか、あるいは共同）別に、それぞれの役割を明らかにする。

研究の全体概要図

地域を主体とするサステイナブル社会への移行方法論の構築：  
地域循環共生圏事業の発展的な拡大にむけて（研究代表機関：早稲田大学）



\*研究代表者、サブグループ長、および本研究グループには属さない早稲田大学内外の有識者2-3名（工学的知見を有する者を含む）に加え、運営の実務を補佐するリサーチアシスタント2名からなるチーム。「トップダウン的な研究体制」を明確にするために、各サブテーマの分担者の研究の大きな方向性を、外部有識者の意見も聴取しつつ、コントロールする役割を担う。形式的にはサブテーマ1の内部に設置する。

地域循環共生圏づくりのプロセスのイメージ



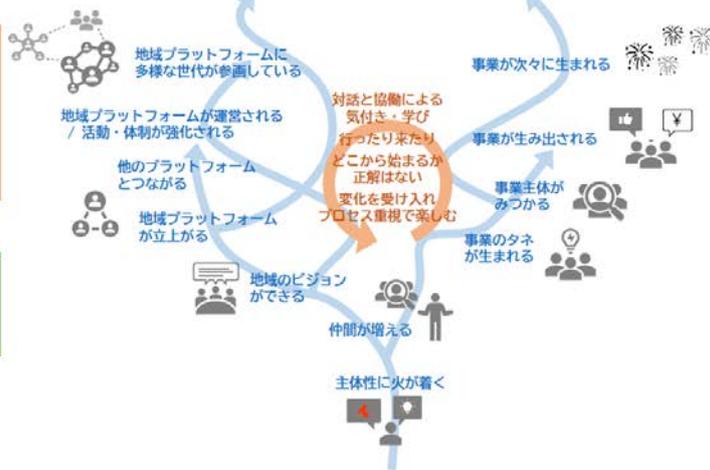
メソレベル  
フレームの策定

マイクロレベル  
イノベーションの推進

【プラットフォームづくり】 ← 両輪として発展 → 【事業創出】

サブテーマ1  
将来世代のwell-beingを視野に入れた持続可能性の条件提示  
制度が満たすべき条件のあり方の提示  
パートナーシップ拡張促進の条件提示

サブテーマ3  
ローカルSDGsとグローバルSDGsの最適な連携・地域循環共生圏概念の国際化



サブテーマ2  
科学的根拠に基づく地域ビジョン作成のための手法開発  
社会条件の戦略的活用による事業ストーリーの拡張や新規事業展開をするための手法開発

サブテーマ3  
海外に学ぶ事業コンセプトを拡張するための評価手法開発